

「コーリー・グッドが深層国家の最大のネメシスを明らかにする」—概要（2）

Greatchain

2019/01/26

司会者: (トランプの言葉を紹介する)「我々は国民に直接、触れようと思えば、メディアを紹介することはできない。我々は歴史上誰よりも、国民の間を歩き回っている。」

Corey Goode: 我々は今、大きな革命、内乱が起こっていると思うだろうが、それは影のようなものだ。今起こっているのは影の世界の戦争だ。すべては表面下で起こっている。情報作戦が両側から行われている。人々が死んでいる。すさまじい銃撃戦が起こっている。空中戦もある。それに加えて、宇宙での戦争が起こっている。これはすでに、我々の周囲すべてで起こっている。ハワイで起こった、あのニセのミサイル攻撃を見るとよい。

私の受けた情報部の情報はすべて、CIA が、自分独自の船団をもっているということだ。これは Dark Fleet と呼ばれている。宇宙船団のように聞こえるが、彼らもっているのは、本物の航空機母艦だ。彼らは、囚人を輸送する巨大な輸送船をもっている。恐ろしいことだが、この集団には原子力潜水艦がある。これがハワイに向って、ICBM ミサイルを発射したのだと言われている。北朝鮮から飛んできたと思せかけるためだった。秘密の宇宙計画が、宇宙の高い所で破壊された弾頭に関わっている。

司会: そこで、一般の人が聞きたいのは、「宇宙軍」 space force と言われるもの、トランプが構想している戦力のことだが、説明してもらえだろうか？

Corey Goode: 軍産共同企業のことを考えてみてほしい。Alliance とずっと交渉してきた暗黒側のことだ。これは、我々が部分的 Disclosure (秘密開示) を始めることについて、合意に達している。我々は軍産合同企業の秘密を開示する。ところで、我々は2つの宇宙ステーションをもっているが、これは、今日我々が公表している三角形航空機より、ほぼ50年も進歩している。そして、これら三角形航空機や他の関係のなかったプログラムの技術が、今、「宇宙軍」の下に、一つに統合されることになった。これは今、我々が一般大衆に向って公表していることだ。

これは私の考えでは、他のどんなものよりも、大規模な PR 計画だ。スペース・ファース (笑劇) だよ。この部分ディスクロージャは真剣にやるべきことで、彼らは最初は、こういった技術を用いてやろうとしている。デイヴィド・ウィルコックもまた頼りにされていて、南極で起こっている古代文明の発見などについて、解説し始めるようだ。これらは、彼らが人々の頬を叩いて目を覚まさせる、最初の 2 つの話題だと思う。

司会: 次に、大規模な人身売買、子供性奴隷という深刻な問題について、あなたがたの観点から教えてほしい。

Corey Goode: 人身売買は、この惑星に人間が存在して以来つづいている悪だ。世界外 (エイリアンの世界) でも、世界内の、我々自身の間でも起こっている。現在、あなたがどこにいようと、そこから 30 マイル以内に (性) 奴隷がいる。どこにいても、どんな環境でも、その周辺に奴隷状態の人間がいる。(訳者——メディアはわかりやすい奴隷である。) そうだ、我々全体が奴隷なのだから、あなた (司会) のいう本物の奴隷は、サブ奴隷と言うべきだ。我々は動き回れる奴隷だ。しかし人間取引の内部で起こっていることのほとんどは、これら暗黒世界、その情報部の間で起こっている。麻薬取引と同じように、そこから入るカネは莫大なものだ。そのカネはまた、いろんな暗黒プログラムへと流れていく。私はブリーフィングを受けて、いかにあらゆる地方の郵便局、警察署、商業都市に、そういうものに侵入しているかを知った。

デイヴィド・ウィルコックは、約 5 万 5,000 の封印された起訴が今、起こされていると言っている。この墮落の深さがわかってくると、我々の生活のあらゆる部分に、それが食い込んでいることがわかる。教会から、慈善団から、すべてがそうだ。我々は国家としても、共同体としても、集団的な不安をもつようになる。

Roger Richards: 人間取引の話になると、それは私の家庭につながってくる。私の妻はインドの戸籍のない村の出身だ。彼女は、第三国の戸籍のない家庭で、どういことが起こるかを、自分の目で見ている。出生証明がなければ、警察に届け出るどんな方法もないのだ。いろんな種類の人たちがやってきて、いろんな理由で子供たちを連れていくのだ。彼女の場合には、子供労働の環境に連れていかれた。海外で生産されるいろんな製品、またアメリカで使われる製品の多くは、そういう戸籍のない子どもたちを、うまく使って作らせたものだ。

人間取引というと、ある場所からアメリカへ奴隷として連れてこられる場合を考えるが、全体からいうと、世界を通じて、子供奴隷は子供に労働させる独占事業が多い。それは我々共同体のシステムとして存在する。ほとんどそれはサブ・カルチャーになっている。あなたは

秘密社会の一部であるサブ・カルチャーの信仰体系を見ているのだ。国家的に、政府全体を通じて我々のネットワークになっている。よくあるのは、大きな会社が非営利事業として、災害のあった後などに共同体に入り込んで、そういう事業をすることだ。

私の一緒に育った友人の中に、そういう里子制度に属していた者たちがいる。そういう里子制度にかかわる恐怖物語や、子どもたちに何がなされるかの話は、身の毛のよだつようなものだ。しかしそれは現実なのだ。あらゆる人がそれを見るようになったら、それに目を背けていたことに、責任を感じなくなるだろう。証拠は今すぐそこにあるのだ。本当に、今すぐこの情報を基に、何か行動を起こさねばならない。これはやめさせなければならない。

Corey Goode: 新聞で、300人が、子供ポルノのような犯罪で捕まったという記事を見たら、必ずそこに2、3人の警察官、数人の聖職者、または市議員などが現れるものだ。国の上院議員さえ、逮捕者の中に含まれることがある。これを見れば、世の中すべてが、いかに、どの程度まで墮落しているかがわかる。

現在、すべてがあまりに政治的に2極化しているので、たとえ、こういう者たちを逮捕して、束にして突き出しても、その半分の者は、「おお、これは俺たちを倒そうとする者たちのプロパガンダだ」などと言っている。ペドフィリアのような子どもに対する残虐は、彼らの宗教だと考えねば、理解できない。ペドフィリアは彼らの宗教だよ。彼らは人々が教会へ行くように熱心に、あるいは、それ以上に熱心にそれを信仰している。両者の考え方のギャップがひどいので、普通の者には、サタンのカルトの犠牲というようなものの、認識自体が困難なのだ。

Roger Richards: これは、世代を次から次へと下って引き継がれていく、ウィルスのようなものだ。残虐行為が子供に対して行われ、それがいかに子供の生涯を形成するかを見れば、また虐待が、いかに人格というものを区分けするかを見れば、これを秘密の宗教として伝えてきた血統の者たちは、自分の子供たちにも同じ教育をしているわけで、彼らは全く違っている。この虐待は、繰り返すサイクルになっているのだ。(訳者——イルミナティの家庭教育が、いかに非人間的なものであるかは、離脱者「スヴァーリ」の告白に語られている。)

この者たちは何世代にもわたって、そのように造られているのだから、我々が怒って、彼らが公的に引き抜かれた空間を考えると、そのような者として理解しなければならない。我々是一个の社会として、それに対して、どのように責任をもつかということだ。そこには、我々がトラウマを受けて、その空間の一部になっている、我々の巨大な部分がある。それにどう対処するかだ。これを殺して閉じ込めるか？ 地球的規模のこのような者たちの存在に対して、共同責任者としてどうするのだ？ (訳者——ロジャー言うことを、わかり易く言

うと、これはアイツラの問題でなく、我々全体の問題であって、そう考えなければ解決できないということである。)

—— 2 はここまで、以下、 3 に続く